

「書」とは文字に命を宿すもの

言葉で表現できない

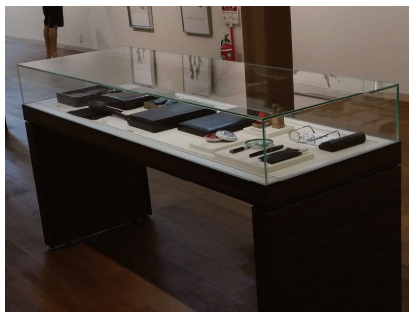
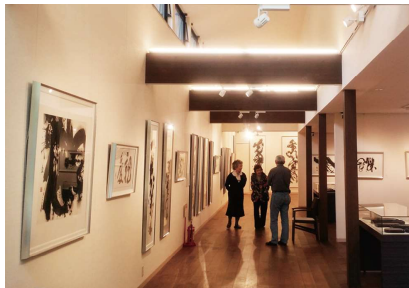
心のなかの「核」を

形に表すのが「書」である

丹治思郷



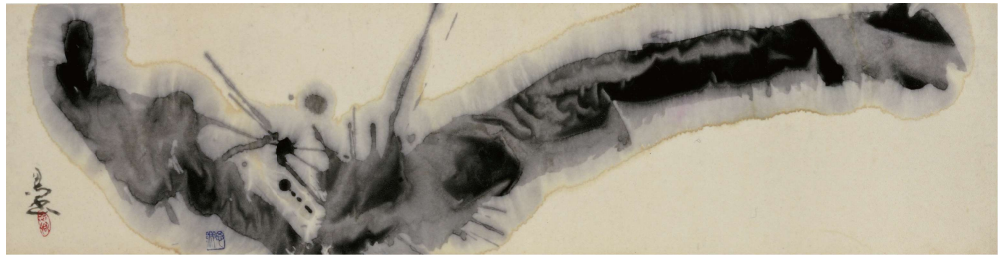
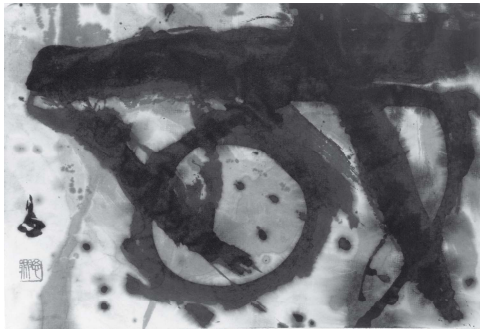
尾瀬書美術館 第9回 思郷展



開館期間 2019年5月12日～11月4日
開館時間 5月12日～10月14日 9:00～17:00 (最終受付16:30)
10月15日～11月4日 9:00～16:00 (最終受付15:30)
入館料 無料 ※但し、ミニ尾瀬公園の入園料が必要になります。
<ミニ尾瀬公園入園料>
5月～8月 大人500円 子供200円 団体400円
9月～11月 大人200円 子供100円 団体100円
※子供は中学生以下、団体は20名以上が対象です。

同時開催
[藍の会書展] 5月12日～7月末日まで開催 (9:00～17:00)
尾瀬書美術館「思郷館」第4室にて併催





戒

三 餘

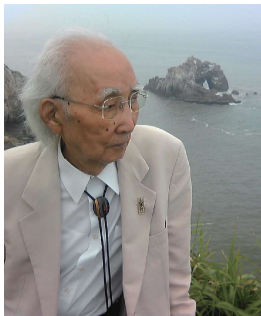
一 心

時無止

(第9回 尾瀬書美術館「思郷展」に展示中の作品より)

[書人]

丹治 思郷
TANJI SHIKYO



- 1923年 福島県二本松市(旧東和町)生まれ。(2015年 逝去)
- 1948年 金田心象(日本芸術院会員・鈴木翠軒門)に入門。
- 1951年 早稲田大学教育学部卒業。1973年文部省に入省。
- 1982年 福島県総合美術展審査長をはじめ以後審査主任8回。
- 1986年 兵庫教育大学教授。平成元年姫路獨協大学大学院講師。書道芸術院展特選受賞。日展会友(入選12回)。毎日書道展会員(毎日賞受賞)等。
- 1989年 東京銀座鳩居堂にて27回連続で毎年個展開催。
- 1998年 フランス・パリにて個展開催。
- 2012年 「県外在住功労者知事表彰」を福島県より受賞。

[尾瀬書美術館]

檜枝岐から発信する書の文化。檜枝岐の人と自然をこよなく愛す、書人・丹治思郷氏の書の作品を展示。入口側壁面はガラス張りになっており、書と一緒に燧ヶ岳の眺望や檜枝岐村の自然も愉しめます。丹治思郷の書の世界を、木の香り漂う空間で存分にご堪能ください。

交通アクセス

■自動車
東京・栃木・茨城方面から
東北自動車道・西那須塩原IC→
→<R400>上三依→<R121>早坂→
→<R352>内川→尾瀬檜枝岐温泉(約100km)

仙台・郡山方面から
東北自動車道・白河IC→
→<R289>下郷→<R121>山口→
→尾瀬檜枝岐温泉(約120km)

■公共交通機関
東京方面から
浅草→<東武伊勢崎線・東武日光線>→
→会津鬼怒川線・会津高原尾瀬口→
→会津バス70分→ミニ尾瀬公園前

仙台方面から
郡山→<JR>西若松駅→<会津鉄道>会津高
原尾瀬口駅→会津バス70分→ミニ尾瀬公園前



お問い合わせ

ミニ尾瀬公園

TEL 0241-75-2065 (5~11月4日まで)

住所 福島県 南会津郡檜枝岐村字左通 124-6

H P <http://www.oze-info.jp/spot/shikyokan/>

至 御池・尾瀬 方面